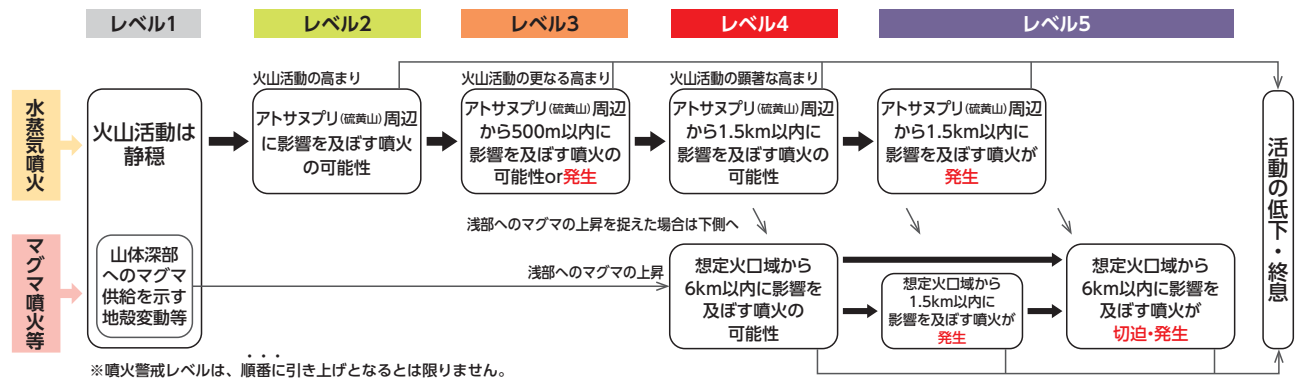


アトサヌプリの噴火警戒レベル

噴火警報等で発表する噴火警戒レベル

- 噴火警戒レベルとは、噴火時などに危険な範囲や必要な防災対応を、レベル1から5の5段階に区分したものです。
- 各レベルには、火山の周辺住民、観光客、登山者のとるべき防災行動が一目で分かるキーワードを設定しています。(レベル5は「避難」、レベル4は「避難準備」、レベル3は「入山規制」、レベル2は「火口周辺規制」、レベル1は「活火山であることに留意」)。
- アトサヌプリの噴火警戒レベルは、噴火警報等でお伝えします。

噴火警戒レベルの区分け



噴火警戒レベル判定基準

レベル	基準	キーワード
5	<p>【居住地域の広範囲（火口から6km以内）に重大な被害を及ぼす噴火が切迫あるいは発生】 次のいずれかの現象が観測された場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模の大きな地震（現地でも有感地震相当以上）の多発 ・山体浅部へのマグマ上昇を示す顕著な地殻変動（地割れ、地盤の隆起等） ・大きな噴石が火口から1.5kmを超えて飛散 ・高さ数1,000mを超える有色噴煙を放出させる噴火の発生 ・ペースサージ、火砕流の発生 ・火山性微動又は爆発地震が発生し、空振（跡佐登観測点で100Pa以上）を伴う場合 	避難
4	<p>【居住地域の一部（火口から1.5km以内）に重大な被害を及ぼす噴火が発生】 次のいずれかの現象が観測された場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな噴石が火口から500mを超えて1.5km以内に飛散 ・高さ1,000～数1,000m程度の有色噴煙を放出させる噴火の発生 ・火山性微動が発生し、空振（跡佐登観測点で30Pa以上100Pa未満）を伴う場合 <p>【居住地域の広範囲（火口から6km以内）に重大な被害を及ぼす噴火の可能性】 次のいずれかの現象が観測された場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模の大きな地震（現地でも有感地震相当以上）を含む山体浅部での火山性地震の増加 ・山体浅部の膨張を示す顕著な地殻変動 <p>【居住地域の一部（アトサヌプリ（硫黄山）から1.5km以内）に重大な被害を及ぼす噴火の可能性】 次のいずれかの現象が観測された場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アトサヌプリ（硫黄山）から500m以内に影響を及ぼす噴火が繰り返し発生 ・火山性地震の急増、規模の増大 <p>次の4つの条件のうち2つ以上の条件を満たす場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火山性微動の継続時間又は振幅の増大 ・山体浅部の膨張の拡大を示す地殻変動 ・火山ガス放出量の増加 ・火口からの噴煙の顕著な増大又は地表面温度の顕著な上昇 	避難準備
3	<p>【居住地域の近く（アトサヌプリ（硫黄山）から500m以内）まで重大な影響を及ぼす噴火の可能性】 次の現象が観測された場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火山性地震が増加している状態で、火山性微動の振幅増大又は山体浅部の膨張を示す地殻変動又は熱活動の高まりが観測されるなど、火山活動に更なる高まりが認められる場合 <p>【居住地域の近く（アトサヌプリ（硫黄山）から500m以内）まで重大な影響を及ぼす噴火が発生】 次のいずれかの現象が観測された場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな噴石が火口から500m以内に飛散 ・高さ数100m以下の有色噴煙を放出する噴火の発生（火口周辺への火山灰の噴出を含む） ・火山性微動が発生し、空振（跡佐登観測点で30Pa未満）を伴う場合 	入山規制
2	<p>【アトサヌプリ（硫黄山）周辺に影響を及ぼす噴火の可能性】 次の現象が観測された場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山体浅部を震源とする火山性地震の増加（任意の24時間で100回以上） <p>次の4つの条件のうち2つ以上の条件を満たす場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記基準には達しない程度の火山性地震の増加した状態が継続 ・山体浅部での火山性微動又は低周波地震がまとまって発生 ・山体浅部のわずかな膨張を示す地殻変動 ・火口からの噴煙（噴気）の増加又は地表面温度の上昇 	火口周辺規制

アトサヌプリハザードマップ(マグマ噴火)



アトサヌプリハザードマップ(町外避難所)

①小清水町避難所

避難所位置図

- 小清水町100周年記念公園
- 小清水小学校
- 愛ホール
(小清水町多目的研修集会施設)



②清里町避難所

避難所位置図

- パスランドさつつる
- 清里町生涯学習総合センター
- 清里町町民グラウンド
- 札弦センター



③大空町東藻琴避難所

避難所位置図

- 大空町農村環境改善センター
- 緑とチーズの里ふれあいパーク
- 東藻琴 B&G 海洋センター
- 東藻琴小学校
- 東藻琴中学校
- 東藻琴高校
- 道の駅ノンキーランド
ひがしもこと



アトサヌプリ噴火時の防災対策

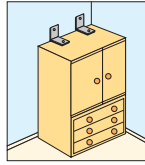
平時の心得

緊急時に迅速に行動するためには、噴火時をイメージして、予め必要な備えをすることが大切です。

● 事前に備えておくこと ●

家具固定など室内の安全を確保します

就寝時などに大型家具等の下敷きにならないようにしましょう。



災害や減災の知識を身につけます

緊急時に適切な行動ができるよう、日頃から減災に関する知識を学ぶよう努めましょう。

地震を感じたら噴火を警戒します

地震が発生し始めたら町や消防に通報し、公的情報に注意して、緊急避難に備えましょう。

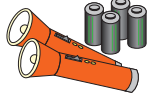


非常時のために家庭内で備蓄します

物資供給の停止に備え、3日間ほど自活できるよう、日頃から家庭内での備蓄をしておきましょう。

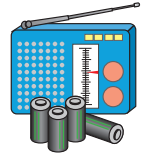
非常備蓄品チェックリスト

- 水
- 非常食
- カセットコンロ
- 紙食器・割り箸
- ロウソク・ランタン
- 携帯用トイレ
- 電源不要ポータブルストーブ
- 非常用給水袋・水タンク類
- 懐中電灯
- 古新聞
- スコップ
- パール



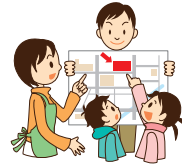
確実に情報を得る方法を準備します

緊急時に確実に情報を入手するため、停電時でも可能な方法を準備します。



緊急時の避難場所や避難経路を確認します

緊急時に迅速に避難するため、安全な避難場所や避難経路、連絡方法を家族などと話し合っておきましょう。



避難時の心得

緊急時に適切に行動するためには、平時に正しい行動をイメージしておくことが大切です。

● 留意すべきこと ●

役場からの情報に注意します

災害が切迫していたり、夜間など移動するのが危険な場合には「屋内での待機」を呼びかけることがあります。

安全な装備で避難します

避難時には必要な装備で風向きを確かめ、噴石や降灰から頭と目を守ります。

避難前に二次災害の防止措置を行います

通電再開時の火災や地震によるガス漏れ等を防ぐため、必ず電気ブレーカーを切りガスの元栓を閉めて、戸締りをして避難します。

できるだけ2人以上で避難します

避難する際には、危険を回避したり、互いの状況を確認し、互いに助け合いながら行動することが大切です。



必要な物資を持って避難します

避難後の生活に備えて、非常持ち出し品を持って避難します。



近隣の人どうして協力し合うようにします

一人では情報を得たり行動できない人や、早めの避難を要する人がいます。避難時には近隣どうして声を掛け合うなど協力して避難するよう心がけます。

アトサヌプリ火山活動史

時期	内容
数百年前	熊落とし火口 水蒸気爆発 (At-a 火山灰)
1,000 ~ 1,500 年前	新アトサヌプリ ドーム形成
1,500 年前	アトサヌプリ火口 水蒸気爆発 (At-b 火山灰)
1,500 ~ 5,500 年前	マクワンチサップ・旧アトサヌプリ ドーム形成
5,500 年前	リシリ火砕流 ドーム形成
5,500 ~ 10,000 年前	多数のドーム形成 (サワンチサップ、オプタテシュケ、トサモシベ、ニフシオヤコツ、274m 山、丸山、ヌプリオンド)
2 ~ 3 万年前	アトサヌプリ火砕流→カルデラ形成 アトサヌプリ成層火山 オヤコツ、252m 山 ドーム形成